



# せたがや 介護ネットニュース

## 第52号

発行日：平成28年2月29日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区福祉人材育成・研修センター

住所：世田谷区成城 6-3-10

### 「認知症ケアに役立つ福祉用具とシステム機器」(報告)

平成28年2月12日14:30~20:00で成城ホールにて福祉用具部会による第1回福祉用具大展示会を開催いたしました。

部会発足後初の展示会開催という事もあり、どの位の人数が来場して頂けるか心配はありましたが、一般の方や事業所の方など来場者123名と大きな成果だったのではないかと思います。

今回の参加メンバーとしては、連絡会に入っている11事業所を中心に各自でメーカー様に声を掛け18社ものメーカー様に協賛・協力を頂く事ができました。

『認知症』と興味のある人が多いテーマという事もあり、何度もメンバーで打ち合わせを行い、次々と商品名

も取り揃えていきました。

宣伝活動についてはチラシを作成し、部会メンバーで各地のあんしんすこやかセンターと支所などの窓口

にチラシを置かせて頂きました。その他にも、様々な方々の御協力を頂戴し、ネットなどにも展示会が行なわれる事を告知して頂きました。

御来場者の方々には、実際に商品に触れてもらい説明を受けて頂くなど普段見たりする事のない物も経験して頂けたかと思えます。

その他にも、『認知症について』のミニ講座を50分程の時間を使って行なってまいりました。来場して頂いた方の中には講座を聞きに来ましたとお話されている方がいるなど、次回からも何かしらの講座なども開いていければと考えております。



が上がっていきました。その後、各事業所で担当を決めメーカーとの交渉を行い、見取り図を作成し会場のイメージを固めていきました。

メインで来場をして頂きたいのは、一般の方という事もありどんな物に興味があり関心を示すのだろうといった所でGPSなどの介護保険とは別の所にある商品など



全体的に見ても今回は成功だったのではないかと私は思っております。ただ、改善できる部分もたくさん出てきました。

次回の開催の際には、会場を変えてみたりテーマを変えてみたりと世田谷区の多くの方々を知ってもらう機会を作っていければと考えております。第2回開催もたくさんの方々に来てよかったと思える展示会を行なっていきたく思います。



福祉用具連絡会副代表 須澤和也

## 第7回通所連絡会定例会

通所連絡会では、平成27年度定例会として1月19日火曜日に成城ホールE集会室で歯科衛生士の十時久子先生を招き『明日から始められる口腔ケア』を開催しました。15事業所32名の参加です。専門的でとてもわかりやすい説明や症例の紹介、医療機関での映像など口腔ケアの基礎、応用を講義頂きました。後半は



2名一組になりお互いの口の中に手を入れて噛む・飲むなど利用者様の立場でどのような

動きで食事動作をしているか？実践的な講習会を開催しました。

また2月9日火曜日に成城ホールCD集会室で東京都立松沢病院認知症疾患医療センター医長新里和弘先生



を招き『介護従事者のための認知症の理解』を開催しました。40事業所65名の参加でした。医療の最新情報もあり毎年恒例の講義で、今回は読み聞かせスタイルでの説明、とても理解しやすい講義です。目玉は直接専門医の医師との質疑応答。どんな些細な質問も先生は分かり易い口調で丁寧に答えて頂きました。3月15日は世田谷区人材育成研修センターA研修室で介護保険課藤森係長を迎え法改正に備えた情報交換会、通所系事業所向けの研修を開催する予定です。詳しくは人材育成研修センターまで問い合わせ下さい。

せたがや通所連絡会幹事  
優っくりデーサービス喜多見 遠藤美輝

## 烏山地域部会報告

平成28年2月22日烏山区民センター集会室にて定例会を開催しました。タイトルは「減災と言うことを知っていますか」としました。烏山地域が繋がるということテーマに「烏山ルールを作ろう」ということで、今回は災害をテーマにしました。

参加者は34名。成城消防署烏山出張署署長の高松勇治氏から「減災」をテーマにお話いただきました。その後はグループワークで、発災後7日間自助で生き残るためには、どうしたらいいかということをお話しました。

各グループでは、食料の備蓄やトイレ、水などを事



前に準備することなどを話し合いました。また、高松氏のお話にもあった「断捨離」をして荷物を減らすことが”被災”を少なく抑え、また、生き延びるということにつながるということを確認しました。

烏山地域ではこれからも引き続き「災害」について考えるほか、お祭りなどへの参加の提案もあります。次年度からは地域の方々との連携、交流を図る活動をしていきたいと思っております。

烏山地域部会 宮川英子



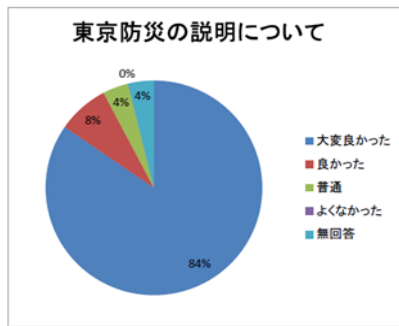
## きぬたカフェを開催しました

平成28年2月24日成城支所4階集会室C・Dにてきぬたカフェを開催しました。

きぬたカフェは砧地域の事業所が職種の垣根を越えて知り合うことを目的とした多職種交流の場です。参加者38人（コアメンバー込み）でした。参加者地区別内訳は祖師谷9・成城4・船橋9・喜多見1・砧8・砧地域以外7でした。前回の忘年会に引き続き、砧地域にある学校法人大東学園大東学園高校・世田谷福祉専門学校校長の金子広志校長も出席なさいました

今回は『3.11がもし再びきたら、、、何ができるか考えよう』をテーマに成城消防署熊谷さんの講話、被災地の体験談の音読、地区に分かれてのグループワークを行いました。消防署の熊谷さんの講話では、東日本大震災の体験や東北に住む熊谷さんの家族の被災状況、東京防災の読み方のポイントや家具転

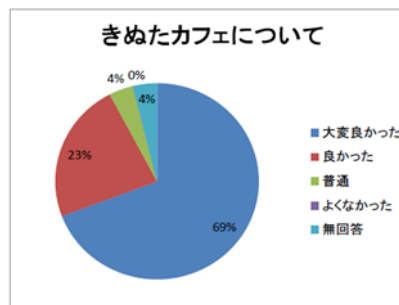
（家具転倒）のクイズなどがありました。アンケートの感想では『被災した家族のつらい気持ちに震災の激しさを改めて実感した』『家具転の話



が良かった』『東京防災を読む機会がなかったのでこれを機に読んでみます』などがありました。アンケート集計では大変良かった・良かったを合わせると92%と好評でした。

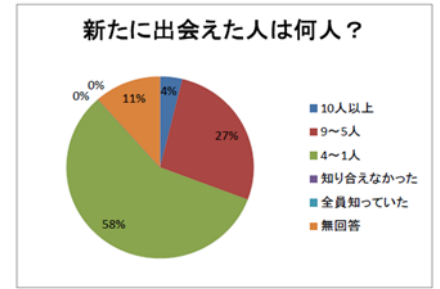
地区班ごとのグループワークでは5つのテーマ（①BCP ②フリートーク ③東京防災 ④地区の特徴 ⑤3.11の経験や思い）から1つを選び、お菓子やお茶をのみながら、話（おしゃべり）し合いました。砧地域部会・青柳浩司さんのユーモラスな司会進行が効果を発揮しほのぼのとした雰囲気でおしゃべりがはずみました。アンケートの感想では『同じ地区の人と知り合いになれた』『ざっくばらんに話が来てよかった』『3.11の話を聞いて、今後の自分の動き方の参考になった』などがありました。その反面4～5人編成のグループで25分のグループワークだったためほかの班との交流がほとんどなく『別のテーブルの人達とも話し合える時間があればもっと良かった』等の意見も上がり今後の参考にしたいと思いました。

集計結果では大変良かった・良かったを合わせると92%と好評でした。



きぬたカフェの

目的である『知り合う』について『チームの方と親しくなれました♡』等の意見が上がり、知り合えた人1～4人が58%、4～9人が



27%となっています。ほとんどの参加者が新たな知り合いができ、きぬたカフェの目的は達成できました。

地区で業種の枠を超えたつながりができれば、地域での顔の見えるつながりができやすくなります。地区でのつながりができれば、地区で助け合うことができ、それはそのまま地域での助け合いがしやすいことにつながっていきます。

これからも砧地域部会では地区のつながりを作り、地域につながりを広げる活動を続けていきます。

28年度の活度計画として、7月にきぬたカフェ（場所未定）、12月にみんなで一緒に作って食べて呑む忘年会



（開催場所：世田谷福祉専門学校（予定））を企画しています。

砧地域部会のきぬたカフェ・忘年会で職種の垣根を越えた横の関係を築いていきましょう！！

砧地域部会 副部長 橋元晶子

## 北沢地域部会 新年会報告

平成28年1月29日に代田区民センターで新年会を実施。定員を超える申し込みがありました。会では、協力委員手作りの鍋や配食サービスからつまみの提供があり、料理に舌鼓をうちながら、「顔の見える関係づくり」が出来ました。ネットワークの新ホームページの発表、参加事業所のPRタイムもあり、大いに盛り上がりました。

今後の予定は、新しい協力委員も参加し、3月末に新年会の反省会と来年度の企画検討会議を実施予定。参加を希望される北沢地域の事業所の皆様、ご一報ください。

北沢地域部会 南大路直子

## 世田谷地域部会「介護ワーカーズアピール10」開催

平成28年2月23日(火)に太子堂区民センターにて、世田谷地域部会を開催しました。直前で会場変更がありましたが34事業所、45名の方が参加してくれました。

今回は顔の見える関係づくりのきっかけとして「介護ワーカーズアピール10」と題し、事業所の特徴や取組を発表する場を作りました。訪問介護2、通所介護1、福祉用具2、訪問看護1の6事業所が10分弱のアピールタイムで自分が所属する事業所の「良いところ、ウリ」を発表してくれました。

参加者からは「へ～、そんなことしてるんだあ。」「もっと詳しく聞きたい。」などの感想があり、盛り上がりました。



後半には世田谷区介護保険課の藤森係長から、新しい総合事業について問い合わせが多かった部分を詳しく説明していただきました。その後にグループごとで意見交換会をしました。意見としては、「まだ事業所としては不安がある。」といったものや、「やはり顔の見える関係が大切だ。」という声もありました。

これからも世田谷地域部会では地域包括ケアの実現に向けて、事業所だけでなく様々な関係者と顔の見える関係づくりをしていきたいと思えます。



世田谷地域部会 徳永宣行

### 研修情報・イベント情報

#### 【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

##### ◆通所連絡会☆

「新しい総合事業 ～4月から何が変わるの?～」

平成28年3月15日(火) 19:00～21:00

会場: 北沢タウンホール集会室1、2

講師: 世田谷区介護保険課事業者支援担当 藤森係長

##### ◆在宅介護経営部会☆

「区指導担当課と連携を考える

～事業者は苦情対応を如何にしているか」

平成28年3月17日 18:30～21:00

会場: 成城ホール集会室C・D

講師: 世田谷区保健福祉部指導担当課の皆さま

##### ◆訪問介護連絡会☆

「介護保険先取り どうなるどうする介護保険」

平成28年3月18日(金)19:00～21:00

会場: 成城ホール集会室C・D

講師: 社会保障推進協議会事務局長 森永伊紀氏

#### ◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修予定】☆

##### 1) 認知症ケア研修(応用編2日目)

平成28年3月16日(水) 14:00～17:00

会場: 研修センタ

##### 2) サービス提供責任者研修(現任)

平成28年3月17日(木) 18:30～20:30

会場: 研修センター3

##### 3) 多職種で学ぶ対人援助技術研修(第4回)

平成28年3月23日(水) 9:00～13:00

会場: 研修センター

##### ◆その他

「砧地域ご近所フォーラム 2016～見つけようつながりよう近所のわ～」

内容: 活動事例発表、意見交換ほか

平成28年3月19日(土) 12:00～16:30

会場: 成城ホール

☆印のイベントの問い合わせは、事務局まで。

#### 編集後記

◆暖冬かと思うと、結構寒い日が続いたり、健康管理に気を遣います。インフルエンザも流行しているので油断大敵です。◆この4月から世田谷区でも新しい総合事業が始まります。サービスA

やサービスBがほんとうに機能するのかどうか。サービス事業所の採算はどうなるのか不透明です。(KT)

#### 問い合わせ先

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話:03(5429)3100、FAX:03(5429)3101